

特別講演

「否定と出会うこと」

公益社団法人 日本放射線技術学会 代表理事 真田 茂 先生

“否定と出会うことが出発点である”と精神分析学者フロイトは言いました。まず、現在のX線イメージングを否定することから始めた、私のX線動態スクリーニング検査の開発研究について紹介させていただきます。また、JSRTは今、様々な変革の真っ只中です。変革は、現状を否定することから始まります。ただ、未来に向けて新たなものを確立する過程では、必ず今まで以上に過去や現在をリスペクトさせられます。具体的な案件に言及しながら、JSRTの目指す将来像についても述べたいと考えます。

教育講演

「深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症」

札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 橋本 暁佳 先生

肺血栓塞栓症は、四肢の深部静脈血栓や大静脈血栓あるいは心内血栓が原因となって肺動脈を閉塞し、呼吸循環障害を来す疾患であるが、静脈血栓症と肺血栓塞栓症は連続した一つの病態と考え、最近では両疾患を併せて静脈血栓塞栓症 (venous thromboembolism ; VTE) と呼ばれる。従来、欧米に比べて本邦ではVTEの頻度は少ないとされていたが、診断技術の向上により、その頻度は増加する一方、極早期に診断し得た軽症例から、以前は救命できなかった重症例に至るまで、様々な病態のVTEを経験するようになった。さらに、新しい抗凝固薬の応用や下大静脈フィルターの適正使用、カテーテル治療や外科治療の適応の変遷など、治療法の変化も著しい。慢性血栓閉塞性肺高血圧症のインターベンション治療に関する当科の成績も含め、深部静脈血栓症と急性および慢性肺血栓塞栓症について概説する。